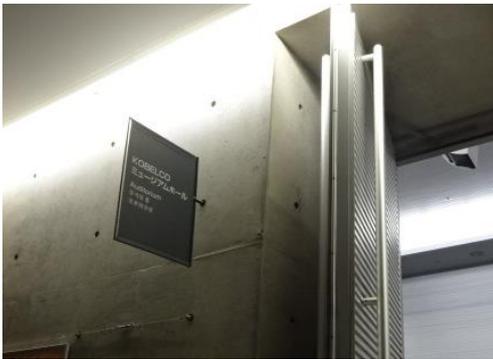


株式会社 神戸製鋼所

兵庫県立美術館は、阪神・淡路大震災からの「文化の復興」のシンボルとして2002年に神戸東部新都心（HAT 神戸）にて開館しました。そして、HAT 神戸から、JR 灘駅周辺、横尾忠則現代美術館にわたる「ミュージアムロード」については、公民連携による活性化が推進されてきました。

この地域連携の中核施設である兵庫県立美術館は、時代に即した運営体制への見直し、外部資金獲得手法の多様化という課題に直面する中、2024年度からミュージアムホールにネーミングライツ制度を導入しました。民間企業としてHAT 神戸を代表する「株式会社 神戸製鋼所」には、2024年度から2026年度までの3カ年にわたり、その制度のスポンサーになっていただき、美術館全体の利用促進に繋がる事業実施等へご支援いただいています。



※株式会社神戸製鋼所ホームページ
<https://www.kobelco.co.jp/>